

六甲アイに一方的に待機場 海コン部会「承諾できぬ」

兵ト協海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）は11月27日、兵庫県トラック総合会館で役員会を開き、阪神国

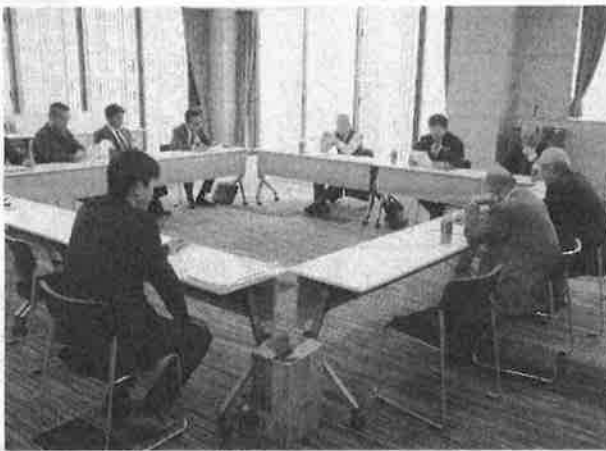
際港湾が六甲アイランドのコンテナ車両渋滞対策として計画している待機場設置について「承諾できない」とする部会決議を採択した。阪神海上コンテナ協会と協力して早急

に阪神国際港湾に交渉を申し入れる。佐賀里部会長によると、神戸、大阪両港湾を一体運用する阪神国際港湾が六甲アイランドのコンテナバースRC4、RC5の公

道渋滞解消のため12月1日から両コンテナバースから離れた場所に新たに待機場を設けると通知してきた。このため、同部会は「待機場を容認しているようなもので、待機時間削減につながらないどころか、さらに悪化させる恐れがある」と反発、話し合いを求めたが、阪神国際港湾は12月1日からの運用開始を譲

らなかったという。同部会では「十分に納得のいく説明が得られていない」と態度を硬化させており、阪神国際港湾に部会決議を文書で通知、改めて協議するよう求めることに、部会員には従来通りRC4・5近くでの待機場を続けるよう呼びかける。

話し合い、①役員の互選で3人程度を選出②委員会規定で活動範囲を限定する—などの兵庫部会案をまとめた。この兵庫部会案を大阪部会とすり合わせ、海コン協会に提案することとしている。



兵ト協海上コンテナ部会の役員会

渋滞対策委員は前回役員会で「部会員の中から知識のある人を選任する」と決まっていたが、具体的な人選は承認のまま活動が始まっていた。このため振り出しに戻し、改めて人選し直すことにした。

ターミナルの訪問についても、関係する部会役員に情報を伝えるなどいままに実施するなどのため、役員間に齟齬が生じる場面もあった。今後はターミナルと部会員との関係組織図を作成、訪問時には関係部会員に連絡するよう改める。